

# 陶芸がつなく笹間の魅力

～国際陶芸祭からはじまる「地域おこし」～



「ささま国際陶芸祭」は、笹間地区に世界トップクラスの陶芸家が集まり、芸術文化で盛り上がるイベント。一方で、地域住民によるおもてなしや、出身や国籍の異なる人たちとの交流の機会など、言葉と国境の壁を越えて人と人がつながる期間でもあります。期間以外でも、芸術家に空き家を提供し創作活動のために滞在してもらう「アーティスト・イン・レジデンス」によって、外からやってきた人と地域の人の深い付き合いが生まれ、地域の活気や自信が生まれています。皆さんも魅力たっぷりの山村で、笹間や世界とつながってみてはいかがでしょうか。

国際陶芸祭実行委員会  
☎54・0661  
文化課 ☎36・7966

2011年から始まった陶芸の祭典「ささま国際陶芸祭」は、今年で4回を迎えます。陶芸で盛り上がる一方で、ささまな人たちに一対一のつながりを作り、地域を変える活力が生まれています。

陶芸だけでなく交流や地域の特色を楽しんでほしい

回数を重ね交流が進んでいく中で、人との一対一での交流やリアルな山村生活の体験など、笹間地区のここではないものが特別だと言ってもらえる機会が増えてきました。これからも単発のイベントで収まらず、生まれた交流を生かして地域の成長につなげていければと思っています。

私は、陶芸祭の実行委員ト参加者の調整などを担っています。このイベントの魅力は陶芸だけでなく、地域のひとと外の人が集い、交流できるところ。私も、異業種の人と接点を持つ機会ができたことで、考え方や感じ方の違いを実感することができ、とても貴重な体験になっています。



国際陶芸祭実行委員  
おかわらの部ゆき  
岡村暢行さん

# 当 たり前の中に魅力を発見する

陶芸を学ぶため、フランスから笹間に移住したジョセフィンさん。創作活動だけでなく、交流センターの手伝いや農作業など、地域の人たちとのつながりに魅力を感じています。それは、笹間地区でのリアルな生活がここでしかできない・学べないことだと言います。



ジョセフィンさんが魅せられた笹間地区の美しい風景



笹間地区に魅せられた来訪者

ジョセフィン・マリノさん

「今年」の6月から笹間  
にやってきて、陶芸  
や日本文化を学んでいます。  
笹間地区の魅力は、茶畑など  
自然が豊かで美しいことは  
もちろんですが、何より人が  
温かいところ。優しく思い  
やりがあり、近所の人のこと  
を気にかけてくれています。  
また、わら細工や木工など  
『ものづくり』の文化がある  
ことも、素晴らしいです。  
急に外国人が多く訪れて、  
初めは笹間の人たちは戸  
惑ったかもしれませんが。で  
も、今では言葉だけでなく身  
振り手振りでも伝わるとい  
うことを分かってくれてい  
て、積極的にコミュニケーション  
をとってくれます。  
初めは、陶芸を学ぶこと  
ができれば、それだけでい  
いと思っていました。しか  
し、この地区の人や文化に  
触れて、一生笹間に住みたい  
と思うようになりました。こ  
れから日本のリアルな暮らし  
を学び、自分の人生の糧に  
したいと思っています。国際  
陶芸祭では、フランスの専門  
学校と日本の学校とのコラ  
ボレーションイベントにも  
関わります。自分が懸け橋と  
なって、イベントを成し遂げ  
たいです」

## ■第4回ささま国際陶芸祭

とき／11月23日(木)～26日(日)  
ところ／山村都市交流センターささ  
まほか

### 【第1部 マナブ】

▽世界各国を代表する陶芸作家を招  
き、最新の陶芸技法や世界の陶芸事  
情を学びます。今回は、ギャラリー経  
営者によるトークショーも予定して  
おり、芸術イベントについて幅広く  
学べる2日間です。

とき／11月23日(木) 午前10時から、  
24日(金) 午前9時から

内容／招待作家によるデモンスト  
レーション・スライドレクチャー、  
交流会・シンポジウムなど

参加費（一般1日券）／当日  
4000円、前売り3800円

※2日間通し券あり（当日は  
8000円、前売りは7500  
円）。学生は、1日券は2000円  
引き、2日券は4000円引きで  
す（15歳以下は無料）。

### 【第2部 デアウ】

▽メイン会場の交流センターのグラ  
ウンドをはじめ、民家や廃校での作  
品展示・販売を行います。その他に  
も、里山ハイキングや地場産品の販  
売、日仏の陶芸学校生徒による共同  
制作展示などが企画されています。  
25日夕方には、世界で初となる酒瓶  
で作った窯で焼成するパフォーマンス  
「SAKE BOTTLE KILN FIRING」

「**今**」までに3回、陶芸祭が行われたおかげで、海外から来た人が笹間地区に住むなど、考えられなかったことが起きています。自分にも地域にもいい刺激になっています。

普段から、自分はみんなのおかげで生きていられると思っているからこそ、どこから来た人でも大切に、自分から声を掛けるようにしています。普段会えない人と話す、新しいことや世の中の動きの話を聞けますし、いつまでも新鮮な気持ちでいられるんですよ。こちらが楽しんでいけるから、初めての相手でも接しやすく感じられるのかもしれない。

80歳を過ぎて、声を掛けてもらえて新しい経験が増えていくことは、うれしい限りですよ。最近はレジデンスで訪れている外国人に、布草履の作り方を教えたり、移住してきた人に昔の生活や道具の話をしたりすることが、楽しみになっています。

国際陶芸祭では、敬老会でお弁当を作って販売したり、しめ縄や草履など作ったものを出展・販売したりして、地域総出で『おもてなし』をしていますね。」

## 新しい価値観に出会える機会

笹間地区で魚屋を営む「しんちゃん」こと澤本さん。その親しみやすさから、市外や国外から訪れた人にも気軽に話し掛け、すぐに打ち解けてしまうとのこと。どんな人との出会いでも大切にするからこそ、陶芸祭をきっかけに得る経験が、生きがいにつながっていると言います。



地域の温かさで来客をもてなす協力者  
澤本慎さん



わら細工などを地域内外の人たちに伝える澤本さん



前回（平成 27 年）の作品展示、ワークショップ



が予定されています。陶芸家や住民そして地域と出会う2日間です。  
とき／11月25日(土)・26日(日) 午前10時から

内容／

- ◎ 参加作家による作品の展示・販売
- ◎ 陶芸に親しむキッズスペース
- ◎ SAKE BOTTLE KILN FIRING (25日の日没後)
- ◎ 地場特産品、陶芸用品、飲食ブースなど

入場料／500円

※当日販売のみ。15歳以下は無料。  
※チケット販売など、詳しくは実行委員会へお問い合わせください。